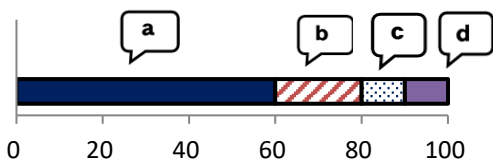


『前期 学校教育診断票（学校評価アンケート）』の結果について

初秋の候、保護者の皆様方には益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。また、日頃より本校の教育活動に格別なるご理解ご協力を賜り、深く感謝申し上げます。

さて、本校では「生き方を学び合おう、高め合おう ー生徒も先生も保護者もー」を校訓として、教育活動を進めております。生徒・保護者の皆様へのアンケート調査等を分析し、前期自己評価を行いました。

つきましては、保護者の皆様にアンケート調査等の分析結果についてお知らせし、本校へのご理解の一助としていただければ幸いです。

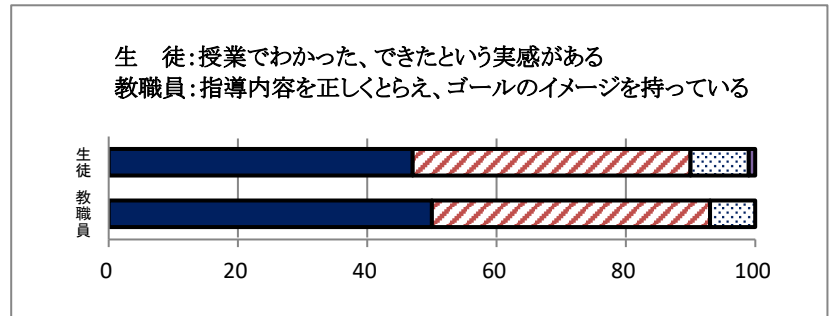


a: あてはまる
b: どちらかといえばあてはまる
c: どちらかといえばあてはまらない
d: あてはまらない

【質問項目に対する集計より（抜粋）】

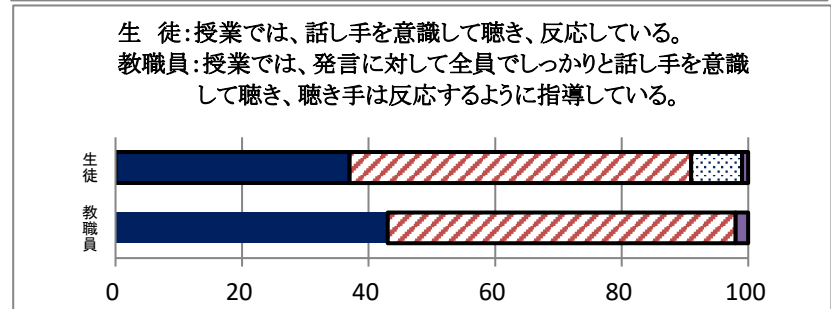
(1) 達成感を持たせる授業

生徒、教職員ともにa、bの肯定的回答の合計は9割を超えていて目標は概ね達成しているといえます。今後も教職員同士が互いの授業を参観したり、協議したりして、生徒が「考えてみたい」と目的をもって授業に取り組むことができるように工夫していきます。



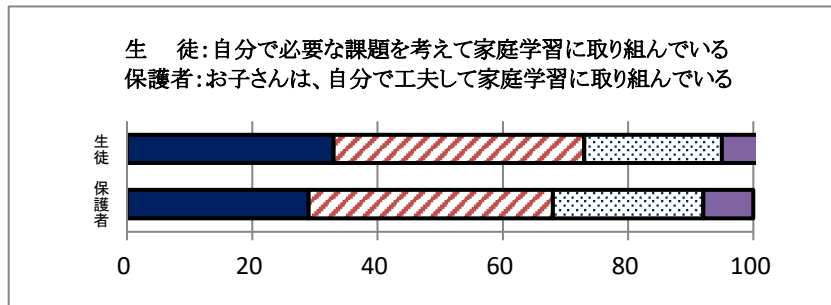
(2) 学習規律の徹底

今年度は話し手に対して反応することにも重点を置いています。授業では話し手を意識して聴くことに加え、反応もすることで、より集中して授業に参加できるようにしていきます。



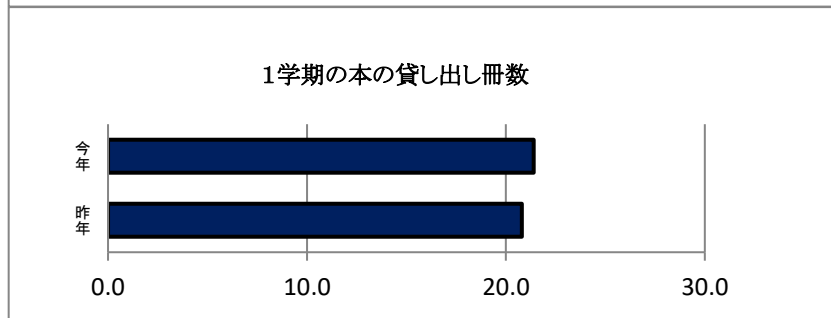
(3) 家庭学習の習慣化

生徒のa、bの肯定的回答の合計は73%であり、昨年と同程度であり高いとはいえません。主体的学習者の育成につなげるために、家庭学習の工夫について、教師から示すだけでなく生徒同士で紹介し合う機会を設けていきます。



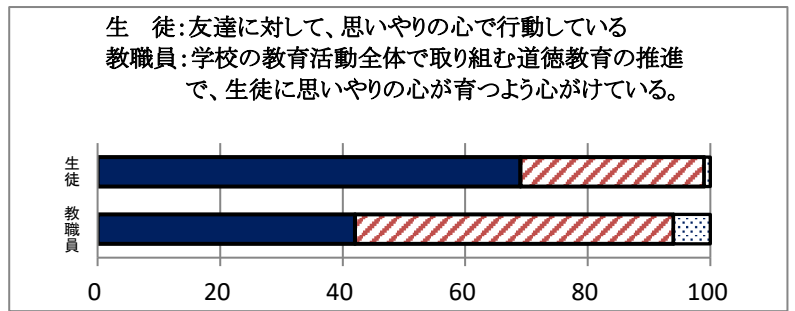
(4) 読書活動の充実

朝読書や教職員によるブックトーク、図書委員会による企画などでの取組により、本に触れる機会が多いです。今後も教員と一緒に読書をする時間を大切にしていきます。また、本やデジタル新聞の活用も積極的に進めていきます。



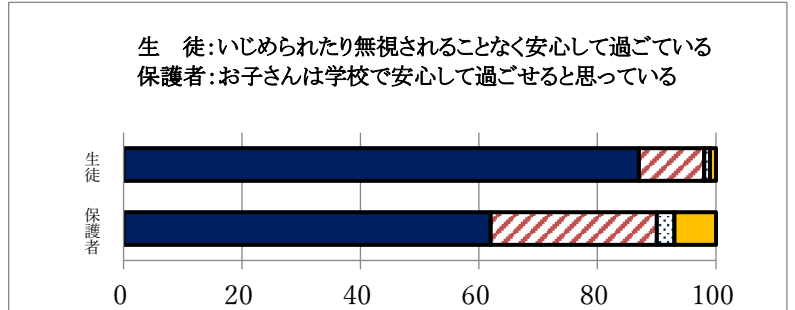
(5) 道徳教育の充実

授業の進め方を共有する研修会等、学校全体を巻き込んで取り組んだことが、教職員の意識の向上につながっていると考えられます。今後は更なる意識の向上のためにも、ゲストティーチャーを招いての授業や、学級学年を超えて、様々な教職員が道徳教育の推進に携わる取組を実施していきます。



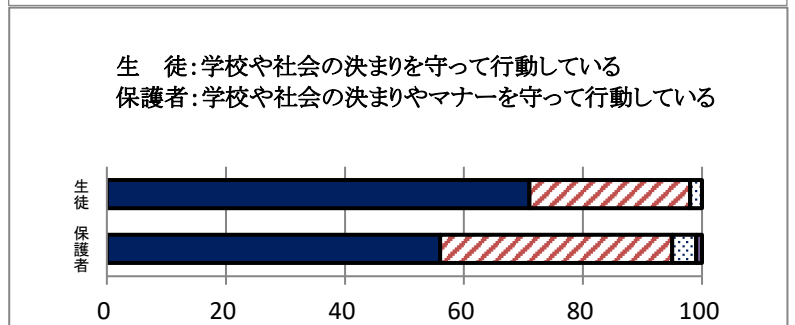
(6) 安心して過ごせる学校づくり

生徒のaの回答は87%、a、bの肯定的回答の合計は98%です。概ね安心して過ごすことができていると捉えることができます。毎日の生活の記録(ダイアリーライフ)やアンケート、観察から生徒の実態を学年で把握し、いじめの早期発見、早期対応に努めていきます。



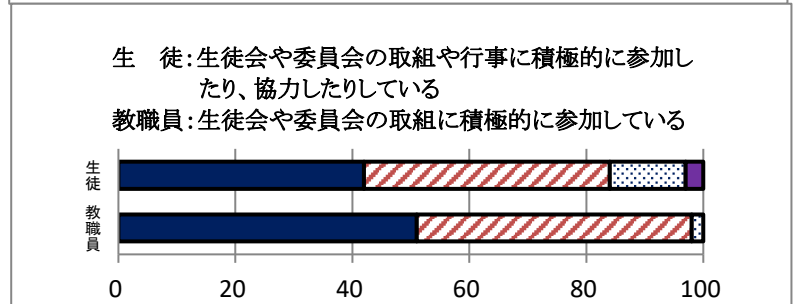
(7) 規範意識の醸成

生徒のaの回答は昨年同時期より、少し増えて7割強です。ルールを守る意義について生徒に考えさせる場面を作ること、主体的に行動できるように促していきます。



(8) 特別活動の充実

生徒のaの回答は昨年同時期より、少し増えて4割強です。生徒議会や生徒総会ができるようになり、取組への参加意識が高まったためと考えられます。今後は、活動を振り返ったり認めたりする場面を設け、自他ともに認めあえる環境を整えていきます。



【保護者アンケート 自由記述より(抜粋)】

保…保護者より

学…学校より

- 保 朝晩の寒暖の差が大きい日も少なくない中、現行の制服では衣服の調整が難しいと思います。カーディガンのような気軽に持ち運びができるものがあればいいと思います。長袖のシャツは袖まくりをしてはいけないと指導されていると聞きましたが、体調管理の上では正しい行動だと思います。
- 学 学校生活のきまりは、生徒の意見を聞き、生徒会中心に話し合い、改善しています。制服だけは調整が難しい場合は、体操服を上から着ることができます。袖まくりはだらしく見えないように、時と場合を考えた上ではしてもよいということに変更となりました。
- 保 パソコンを自由に持ち帰れるのは良いけれど、パソコンで自由にブラウジング出来ないように一定の制限をかけてほしい。また、使用できる時間等にも制限を。それが出来ないのであれば、持ち帰りを制限してほしい。
- 学 全国学力調査より、学校の授業以外に、パソコンを勉強のために使っている生徒の割合が、県平均と比べても低い現状です。家庭学習にもパソコンを利用できる環境づくりを進めていきたいです。なお、22時以降はインターネット接続ができないように設定されています。
- 保 活動時間や活動回数が学校から出されたものを超えている部活が複数あると聞きます。熱心に指導してくださっているのはありがたいことですが、オフの日も子ども達にとって貴重な時間だと思います。学校としてそのようなことは把握していて、特例として扱われているということでしょうか？
- 学 今年度より、平日の部活動の活動時間を短縮し、完全下校は3月～10月は18:15となりました。各部の部活動の活動予定や実施記録を学校として把握しています。大会等の関係で時期により、練習が偏ることもありますが、年間で休養日が52日以上になるように設定しています。